

第2回 情報学教育フォーラム

Information Studies Education Forum

日時：2015年10月18日(日) 13:00~17:00

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス (東京都新宿区大久保 3-4-1)

55号館 S棟2階 第3会議室 (<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/>)

※ 第1回のフォーラム会場とは別の会議室となりますので、ご注意ください。

テーマ：情報学教育における高大接続と連携

協賛：(一般社団法人) 情報システム学会 (<http://www.issj.net/>)

運営：情報学教育研究会 (SIG_ISE) (http://www.mlab.sue.shiga-u.ac.jp/sig_ise/)

プログラム

- 13:00~13:30 開会 (挨拶等) 松原伸一 (情報学教育フォーラム議長, 滋賀大学 教授)
(来賓挨拶) 高田信夫 (情報システム学会 基礎情報学研究会事務局長)
前迫孝憲 (教育システム情報学会前会長, 大阪大学教授)
伊藤 守 (社会情報学会 前会長, 早稲田大学教授)
- 13:40~14:10 講演1 (講師) 河添 健 (慶應義塾大学 総合政策学部 学部長)
<大学の視点から> 高大接続と入試 (仮)
- 14:10~14:40 講演2 (講師) 鹿野利春 (文部科学省 教科調査官, 情報)
<行政の視点から> 我が国における情報教育政策 (仮)
- 15:00~17:00 懇談会 ※司会 齋藤 実 (埼玉県立大宮高等学校)

本フォーラムは、個人が自由に参加し、情報学教育*に関心を持つ者が一堂に会して懇談を行うものです。

※情報学教育とは、自然科学系の内容だけでなく、人文社会系の内容をも積極的に取り入れ、いわゆる“文理融合でバランスのよい情報学”の教育のことである。これは、従来の情報教育の概念を発展させたもので、親学問との関連を考慮して、学習内容を明確化(再構成)する点に特徴がある。

第2回情報学教育フォーラムでは、(a)情報学教育における高大接続と連携、(b)文理融合の情報学、(c)高校で教えるべき教科「情報」の内容、の3つを重点項目といたしました。

懇談会では、効率よくすすめるため、3つのセッションで構成し、下記のように進めたいと考えておりますが、状況により(適宜、皆様のご希望にあったものとするため)、変更になる場合がございます。予めご理解とご協力を頂戴できれば幸いです。

第2回情報学教育フォーラムでの課題

重点項目

- (a) 情報学教育における高大接続と連携
- (b) 文理融合の情報学
- (c) 高校で教えるべき教科「情報」の内容

その他の課題

- (d) 大学における情報学教育
- (e) 情報社会のモラルと安全
- (f) 日本独自の先駆的なK-12カリキュラム
- (g) 親学問としての「情報学」と学校教育
- (h) その他、「文理融合の情報学」の教育に関する諸事項

セッション1 (50分程度) : (全体) 全員による共通セッション

・キーノートスピーチ

Keynote 1 西垣 通 (東京経済大学教授, 東京大学名誉教授)

Keynote 2 筧 捷彦 (早稲田大学教授)

・全体における懇談・討論等

セッション2 (40分程度) : (分科会) による懇談のセッション

・重点項目などの関心のあるテーマに分かれての懇談・討論

セッション3 (30分程度) : (全体) まとめのセッション

- ・各分科会からの報告 (情報提供による共通認識)
- ・第2回情報学教育フォーラムにおける課題整理
- ・ニューズレター2号, 論考2号に向けての案内, . . . , など。

参加登録者の皆さまへ

第2回情報学教育フォーラムのご参加に際して

情報学教育フォーラム実行委員会

はじめに

新しい時代に対応した新しい情報教育の在り方の検討を目指して、2015年5月31日に、第1回情報学教育フォーラムを開催しましたところ、多くの皆様のご関心を頂戴しましたので、第2回情報学教育フォーラムを開催できる運びとなりました。お忙しいところ、参加申込をして頂きましてありがとうございます。

本フォーラムは、個人が自由に参加できる形態とし、公募による懇談会としています。従いまして、その人数には自ずと限度がありますが、工夫を施して、結局、第1回の約1.5倍の参加者数となりました。

ご参加に際して

本フォーラムは、会場大学のセキュリティの関係で、事前に参加登録をされた方のみが入場できます。参加申込(事前登録)のない方は、入場・入室ができませんのでご注意ください。また、会場は、「指定席」とする予定ですので、ご自身のお名前を確認してご着席下さい。

なお、懇談会の重点項目などについて、簡単なご意見を頂戴したいと思います。着席の後、ご意見(票)にご記入いただきまして、スタッフにお渡し下さい。また、ご意見(票)は、Webサイトに掲載しておりますので、あらかじめご記入頂いて当日ご提出されても結構です。

情報学教育フォーラムについて

今回のフォーラムは、①関係する内容の講演と、②公募による懇談会がセットになった新しい方式の会議です。講演は2件で、1件あたりの時間は短いですが、その後にて展開する懇談会の序章になります。

今回の懇談会では、キーノートとして2名程度の先生のコメントを頂戴する予定です。また、今回の懇談会では、3つの重点項目を設定し討論(懇談)をお願いする予定ですが、結論を出すことを目的としていません。しかしながら、この時期に本研究会の活動に関心をお持ちいただき、多忙な中でもフォーラムへの参加を希望されたご厚意に対応することが重要だと考えております。

そのためには、一定の見解や知見(方向性)を示すことは必須ですが、それは本研究会の今までの実績を活用することができるかもしれません。重要なことは、課題の整理とその解決の方向性の確立(指針やガイドラインなど)にあると考えております。

情報学教育研究会では、既に多くのプロジェクトを立ち上げ、一定の研究成果をあげています。時にはその成果を示しながら、評価を頂戴して整理することも重要かもしれません。

今後は、・・・

数ヵ月後を目途に、懇談会での展開をベースに成果をまとめて、「情報学教育論考」第2号(以降では、論考と呼ぶ。)を発行する予定です。これは、懇談会にて貢献された方々を中心に協議しながらまとめるとともに公募による原稿も頂戴するとともに、情報学教育研究会の成果も加えて、まとめたものいたします。

論考の内容は単なる実践報告ではなく、フォーラム(懇談会)の重点項目を中心に「まとめ(その2)」を作成するとともに、それをベースに、「指針(その2)」を示すことに力点を置きたいと考えております。

なお、今回のフォーラムは前回に続いて新しいイベントとなりますが、工夫しながら効果的な運営を模索したいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜れば幸いです。

【情報学教育フォーラムのサイト】 http://www.mlab.sue.shiga-u.ac.jp/sig_ise/isef2015/

情報学教育フォーラムの
参加者の皆様へ

「第2回情報学教育フォーラム」の 懇談会の運営・進行について（ご案内）

情報学教育フォーラム実行委員会

懇談会では講師，Keynoteの先生を中心に，あらかじめ指定された討論者に加え，公募により参加された懇談者を構成員として進められます。限られた時間で効果的に進めるため，概ね下記のような流れを想定しています。ご発言は司会者及び議長の指示に従い，発言内容はあらかじめ整理して**1分以内**で**簡潔**にお願いします。

【懇談会】の進行表（例）

時：分 ~ 時：分	発言者	内容
15:00 ~ 15:50	セッション1 (全体会)	司会：懇談会の開始宣言 議長：懇談会の趣旨説明など Keynote1 西垣 通(東京経済大学教授，東京大学名誉教授) Keynote2 笈 捷彦(早稲田大学教授)
15:50 ~ 16:30	セッション2 (分科会)	※各分科会に分かれて，懇談・討論 ※ご意見は簡潔に ※まとめのセッションでの発言者を予めお決めください。
16:30 ~ 16:50	セッション3 (まとめ)	各分科会から 項目 (a) では， 項目 (b) では， 項目 (c) では，
17:50 ~ 17:00		議長：「まとめ」と「お願い」，今後の予定

※時間・時刻は，あくまでも目安です。実際には，それぞれにおいて伸縮いたします。

※時間の有効利用と進行にご協力ください。

懇談会の位置付けと方向性について

- ・今回の懇談会では，各項目の一つひとつについて，結論を出すことを目的としません。
- ・しかしながら，この時期に本研究会の活動に関心をお持ちいただき，多忙な中でもフォーラムへの参加を希望されたご厚意に対応することが重要だと考えております。
- ・そのためには，一定の見解や知見（方向性）を示すことは必須ですが，それは本研究会の今までの実績を活用することができるかもしれません。
- ・重要なことは，課題の整理とその解決の方向性の確立（指針を作ること）にあると考えております。
- ・情報学教育研究会では，既に多くのプロジェクトを立ち上げ，一定の研究成果をあげています。時にはその成果を示しながら，評価を頂戴して整理することも重要かもしれません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご意見（票）

氏名 _____ 所属（役職等） _____

※重点項目は1つ以上にご意見をお書き下さい。また、時間があれば【その他の課題】にもご記入下さい。
 ※項目ごとに切り離しますので、記入された項目には、それぞれ署名をお願いします。

【重点項目】

項目	ご意見
(a) 情報学教育における 高大接続と連携 (署名：)	

(b) 文理融合の情報学 (署名：)	
----------------------------	--

(c) 高校で教えるべき 教科「情報」の内容 (署名：)	
---	--

【その他の課題】

(d) 大学における情報 学教育 (署名：)	
-------------------------------	--

(e) 情報社会のモラル と安全 (署名：)	
-------------------------------	--

(f) 日本独自の先進的 なK-12 カリキュラム (署名：)	
--	--

(g) 親学問としての「情 報学」と学校教育 (署名：)	
-------------------------------------	--

(h) その他 (署名：)	
-----------------------	--